

森が繋いだ絆

—南三陸町と慶應義塾のこれまでとこれから—

南三陸町と慶應義塾のこれまで

半世紀におよぶ関係性



慶應の森(志津川山林)

およそ半世紀にわたって関係性を構築

- 1971年より西戸地域に学校林(慶應の森)を所有
→ 塾長や学生が植林で訪問
- 慶應義塾志木高等学校の学生が南三陸町で研修を実施

慶應義塾・南三陸プロジェクト(南三陸PJ)



東日本大震災をきっかけに発足
2011年7月から8年にわたり活動



町の人々との継続的な関係性を築き上げてきた

プロジェクト参加人数

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	累計
期間	17期	13期	14期	13期	12期	10期	9期	8期	1期	97期
参加学生	334	230	222	266	184	159	99	67	18	1,579名
参加教職員	52	19	21	15	15	11	9	8	1	151名
総参加者	386	249	243	281	199	170	108	75	19	1,730名

2つのスローガン

スローガン①(2011年～2016年)

「被災地」に行くのではなく、南三陸町へ行く

- お世話になってきた南三陸町への恩返しの気持ち
- 誰かにまた会いたい、また南三陸町に行きたいという思いを「顔の見える関係」の中で作って震災について考える

スローガン②(2016年～2019年)

南三陸町のサポーターになろう
～慶應の森から南三陸町とつながる～

- 災害ボランティアの需要減少に伴い「南三陸町のサポーター」として慶應の森を軸に活動
- 活動を通じて南三陸町の魅力を知ってもらい関心の輪を広げ、南三陸町をより身近に感じてもらう

ニーズの変化に合わせて活動スローガンを更新

主な活動内容



ボランティアセンターでの活動



町の人々との交流



震災伝承



ベンチの作製



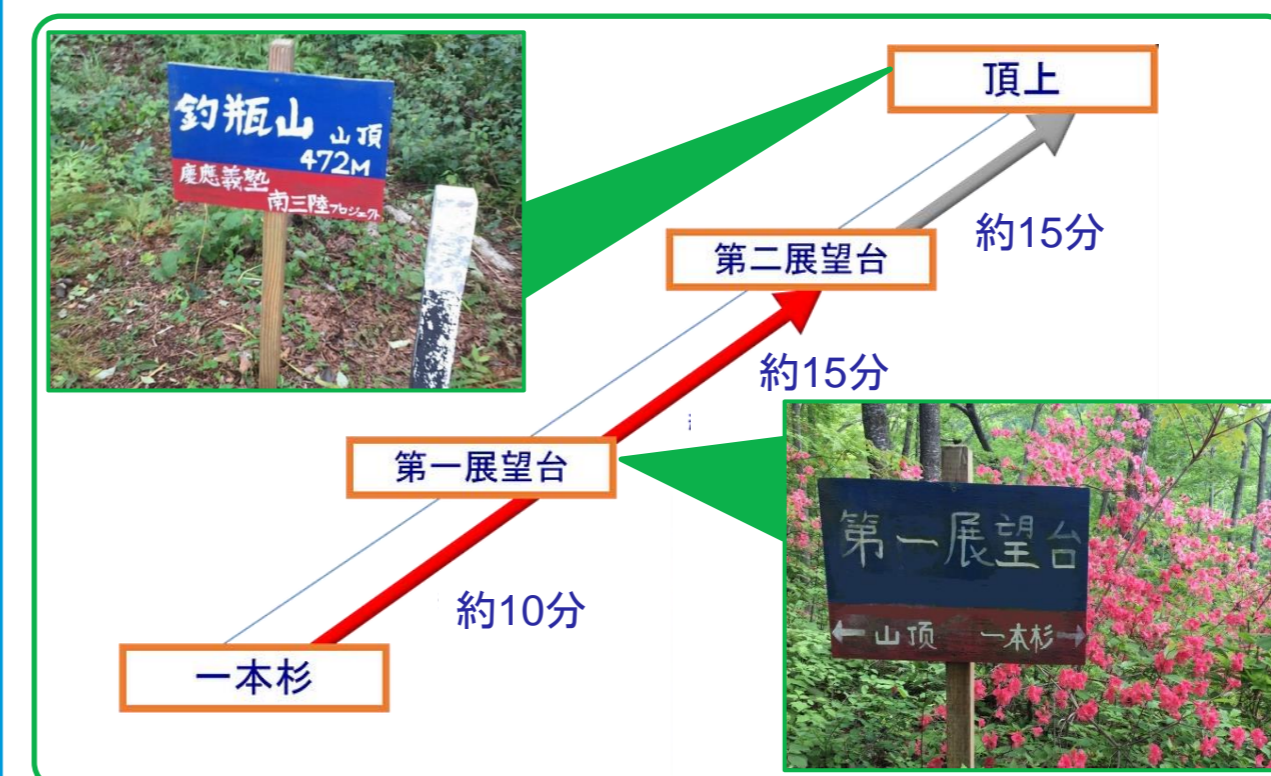
町内イベントのボランティア



慶應の森の整備

慶應の森での活動

遊歩道の整備



- 災害時の避難道や南三陸町の人々との交流の場として利用
- 草木の除去、木材を使用した階段の作成
- 休憩スペース(第一、第二展望台)の整備



子どもたちに遊びと学びの場を提供



慶應グッズの企画

南三陸町と慶應義塾のこれから

慶應義塾・南三陸PJから慶應RDプロジェクトへ

南三陸PJの閉幕



ボランティアのニーズの減少に伴い、震災直後と同じ形での南三陸PJは2019年7月の活動を最後に閉幕

南三陸PJにより8年間かけて深めた絆をどう活かすかが課題に

連携協力に関する協定の締結



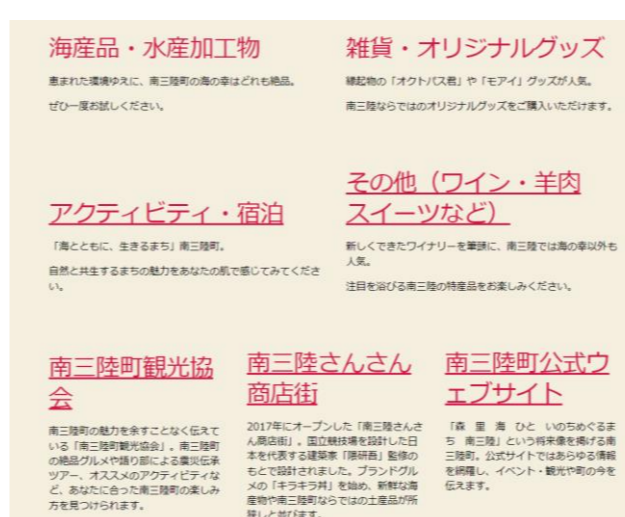
2021年3月、南三陸町と慶應義塾との連携協力に関する協定を締結

南三陸町と慶應義塾の絆を残し続けさらに深めていくチャンス

2021年7月、今まで以上に南三陸町のニーズに応えるべく慶應RD(Regional Development)プロジェクトが発足!

慶應RDプロジェクトの活動

Webサイトの作成



Webサイトはこちらをスキャン

南三陸PJの活動紹介動画の制作



動画の視聴はこちらをスキャン

南三陸PJの軌跡を残すとともに対外活動の第一歩

今後に向けて

- 南三陸町のニーズに合わせて、慶應RDプロジェクトができることを模索中!
- 「話してみたい」「協力して欲しい」「一緒に活動したい」ご連絡はこちら! 慶應RDへのご意見募集しています! 連絡先: keio.regionaldevelop@gmail.com

